

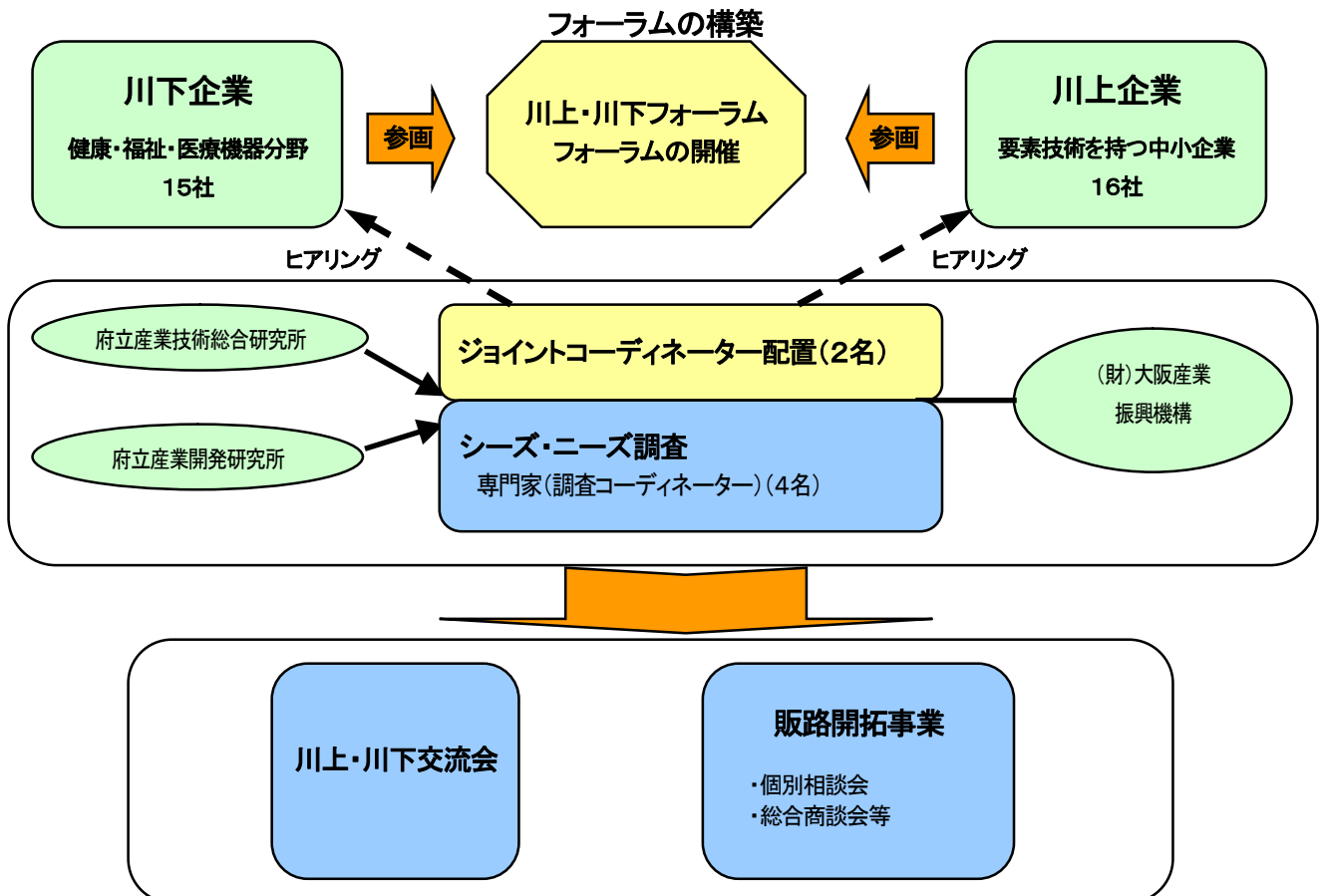
平成20年度 川上・川下ネットワーク構築事業
成果報告書

| | | | |
|-----------------|--|-----|-------------------------------|
| 委託法人名 (代表者名) | 財団法人大阪産業振興機構 理事長 池谷 成典 | 所在地 | 大阪府大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか |
| 契約名 (テーマ名) | 健康、福祉、医療機器向け川上企業の要素技術顕在化と川下企業のネットワーク構築事業 | | |

1. 委託業務の概要

本事業は、高齢化社会の進展や国民の健康意識の向上などにより今後一層の成長が期待される健康・福祉・医療機器製造分野において、川下企業のニーズと大阪府内の中小部品メーカーや加工業などの基盤技術力を明らかにし、双方向の情報疎通を図るコミュニティ形成とビジネスマッチングを図ることを目的とする。

健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム



1 フォーラム構成企業者数及び企業者名（川上）

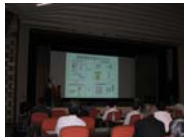


| | | |
|---------|----------|---|
| 川上中小企業者 | 川上中小企業者数 | 川上中小企業者・団体名 |
| | 16 | 山陽製紙(株)、関西セイキ工業(株)、(株)メタルファンテック、(株)創機システムズ、(株)コンフォートラボ、梅田電機(株)、(株)コウビ造形、大阪コートロープ(株)、(有)ケイツー電子工業、(株)JAPAN STAR、クラスターテクノロジー(株)、メディカルデータバンク(株)、(株)フジフレックス、(株)中田製作所、山本光学(株)、(株)和紙の布 |


2 フォーラム構成企業者数及び企業者名（川下）

| | | |
|-------|--------|----------------|
| 川下企業者 | 川下企業者数 | 川下企業者・団体名・有識者名 |
| | 15 | |

2. 事業実績

(1) フォーラム（シンポジウム・交流会等）開催実績

| フォーラム名等 | 参加企業 | | | 参加数 | 開催日 | 開催内容 |
|----------------------------|------------------|------------------|------------------------------|------|--------|---|
| | 川上企業 | 川下企業 | その他 | | | |
| 第1回健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム | フォーラム構成企業 11社 | フォーラム構成企業 15社 | 金融機関、関係団体、フォーラム構成外企業等 59社 | 129名 | 9月24日 | <p>第1部 コメンテーターからの提言 「新たな視座が拓くものづくりの未来 ～新たな健康増進市場の開拓～」 ウエルネス・フロンティア(株) 代表取締役 大木香一郎氏</p>  <p>第2部 事例発表（川上企業8社） コメンテーター ウエルネス・フロンティア(株) 代表取締役 大木香一郎氏</p>  |
| 第2回健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム | フォーラム構成企業 13社 | フォーラム構成企業 5社 | 金融機関、関係団体、フォーラム構成外企業等 33社 | 72名 | 11月19日 | <p>事例発表（川上企業8社） コメンテーター ウエルネス・フロンティア(株) 代表取締役 大木香一郎氏</p>  <p>企業活性化支援サービス紹介 有限責任事業組合企業活性化支援 公認益社 青木 伸文氏</p> |

| | | | | | | |
|------------------------------|------------------|-----------------|-------------------------|-----|-------|--|
| 健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム成果報告会 | フォーラム構成企業 10社 | フォーラム構成企業 3社 | 関係団体、フォーラム構成外企業等 48社 | 90名 | 1月27日 | 健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム成果報告 財団法人大阪産業振興機構 サイト・コーディネーター 夏川 一輝 川上企業発表(10社) 大阪デジタルコンテンツ創出協議会との連携 大阪健康サービス産業創造協議会の現況と今後の展開 健康サービス産業創出におけるイノベーションパートナーシップ  |
| 健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム交流会 | フォーラム構成企業 5社 | フォーラム構成企業 1社 | 関係団体、フォーラム構成外企業等 23社 | 23名 | 1月27日 | 上記報告会に引き続き、交流会を開催。 |



(2) セミナー・勉強会開催実績

| セミナー名等 | 実施日 | 検討課題(テーマ名) | 参加企業 | |
|--------------------------------------|--------|--|-----------------|------|
| | | | 川上企業 | 川下企業 |
| 健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラムプレゼンテーション勉強会 | 11月5日 | 川上企業が自社の技術力等を川下企業に対しアピールするため、決められた時間内に効果的・効率的なプレゼンテーションの方法等についての勉強会 講師：ウエルネス・フロンティア(株) 代表取締役 大木 香一郎氏 | フォーラム構成企業 7社 | |
| 健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラムプレゼンテーション勉強会2 | 11月11日 | 川上企業が自社の技術力等を川下企業に対しアピールするため、決められた時間内に効果的・効率的なプレゼンテーションの方法等についての勉強会 講師：ウエルネス・フロンティア(株) 代表取締役 大木 香一郎氏 | フォーラム構成企業 1社 | |

(3) シーズ・ニーズ調査実績

| | 調査企業数 | 調査概要 |
|---------------|-------|--|
| 川上企業 (シーズ) | 15社 | フォーラムでの発表企業に対し、ヒアリング調査を行った。 各社とも、健康・医療・福祉分野で活用可能な技術シーズを持っている。フォーラム終了後の個別面談会での状況では、各社とも川下企業との名刺交換や意見交換を行い、中には、具体的な商談につながっていく可能性のある引合も見受けられた。 |
| 川下企業 (ニーズ) | 8社 | フォーラム参加川下企業8社に対し、ヒアリング調査を行った。 川下企業全般に、ニーズの提示については、NDA(秘密保持契約)下あるいは、クローズの場であれば、ニーズの提示は可能であるが、オープンな場でのニーズの提示は難しいとのことであった。 |

(4) 販路開拓実績

| 展示会名等 | 参加企業 | | | 開催日 | 開催場所 | 開催内容・検討課題等 |
|---|------------------|------------------|------------------------------|--------|------------------|--|
| | 川上企業 | 川下企業 | その他 | | | |
| 第1回健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム名刺交換・個別面談会(展示会) | フォーラム構成企業 11社 | フォーラム構成企業 15社 | 金融機関、関係団体、フォーラム構成外企業等 59社 | 9月24日 | 大阪商工会議所国際会議ホール | 第1回フォーラム終了後、川上发表企業8社が自社製品や加工部品、パネル等を展示したミニブースを設け、自社の技術力をアピールするとともに、川上・川下企業間の情報・意見交換を行った。  |
| 第2回健康・福祉・医療機器産業ネットワークフォーラム名刺交換・個別面談会(展示会) | フォーラム構成企業 13社 | フォーラム構成企業 5社 | 金融機関、関係団体、フォーラム構成外企業等 33社 | 11月19日 | 大阪府立中央図書館ライティホール | 第2回フォーラム終了後、川上发表企業8社が自社製品や加工部品、パネル等を展示したミニブースを設け、自社の技術力をアピールするとともに、川上・川下企業間の情報・意見交換を行った。  |

(5) ジョイント・コーディネーターの配置及び果たした役割について

| 氏名 | 所属 | 専門分野 | 川上・川下間のシーズとニーズのマッチング及び連携コーディネートの内容等 |
|-------|-----------------|---------------------------|---|
| 平井 拓己 | プール学院大学 准教授 | 中小企業論、 地域経済論、 開発経済論 | ・シーズ・ニーズ調査に関する調査票の作成 ・川下企業2社への訪問・ヒアリング ・シーズ・ニーズ調査全般に関する企画 ・フォーラム全般についてのアドバイス |
| 夏川 一輝 | 大阪府立産業技術総合研究所OB | 技術開発 技術コンサル タント | ・川下企業2社への訪問・ヒアリング ・フォーラム全般の企画・運営 ・フォーラムでの発表川上企業の技術等に関するアドバイス ・マッチングに関する調整 |

3. 本事業の実施結果(成果)及び評価

(1) 成果

【川上・川下ネットワークフォーラムの設置】

健康・福祉・医療機器分野において、川上企業と川下企業が参加するフォーラムが形成されたことは、新規に本分野に参入を希望する川上企業の自社の技術力をPRする場の提供や交流機会の提供、川下企業においては部品調達や研究開発などの情報収集の場の提供に重要な役割を果たした。

【シーズ・ニーズ調査】

川上企業に対し、健康・福祉・医療機器分野で利用可能な技術内容等について、川下企業に対し川上中小企業へのニーズについてヒアリング調査を実施した。

【勉強会の開催】

川上企業が自社の製品・技術について、時間内に効果的にPRするためフォーラムでの発表企業に対し、

プレゼンテーションの方法について勉強会を行った。フォーラムでの発表では、時間内に効果的なプレゼンができた。

【名刺交換・個別面談会】

フォーラムでの事例発表企業のブースを設け、製品やパネルを展示し、フォーラム終了後に参加川下企業との名刺交換・個別面談会を行った。情報交換や具体的な商談につながる可能性のある引合もあり、たいへん有意義であった。

【販路開拓事業】

フォーラム参加の川下企業と川上企業のクローズの場での個別マッチングの実施について調整した。今後も川上企業の医療機器分野への参入について支援を継続していく。

【事業全体の成果】

本事業では、これまで参入機会が少なかった健康・福祉・医療機器分野の川下企業と川上企業とのフォーラムの設置を通じ、川上企業の製品や技術を川下企業へ紹介することにより、新たなマッチングの場を提供することができた。

また、大阪府立産業技術総合研究所が主催する「応用福祉工学技術フォーラム」、大阪商工会議所が主催する「次世代医療システム産業化フォーラム」や大阪健康サービス産業創造協議会など、既存の健康・福祉・医療機器分野の関係機関との連携を深めることができ、今後の川上中小企業のマッチング支援に向け、新たなネットワーク関係を構築することができた。

(2) 評価

短期間の事業ではあったが、優れた基盤技術を持つ川上中小企業と健康・福祉・医療機器分野の川下セクターメーカーとの情報交換、マッチングの場を提供することができ、新たな分野へ参入を希望する意欲的な川上企業を支援することができた。

シーズ・ニーズ調査では、特に川下企業からのニーズ提供に関して難しいことが明らかになり、マッチングに際して解決していくべき課題も明確になった。

しかし、他の機関との連携を通じ、非常に大きな枠組みでのネットワークの構築ができ、今後のものづくり中小企業の支援体制の充実につながっていくと考えている。

4. 連携プロジェクトへのアプローチについて

| 連携プロジェクト名 | 対象分野 | 今後のアプローチ | 参加企業数 | |
|-----------|------|----------|-------|------|
| | | | 川上企業 | 川下企業 |
| 該当なし | | | | |

(その他アプローチについて)

| 対象分野 | 今後のアプローチ | 参加企業数 | |
|------|--|-------|------|
| | | 川上企業 | 川下企業 |
| | 構築したネットワークを活用し、他の機関との連携により、川上企業と川下企業とのマッチングをコーディネートしていく。 | | |

5. その他

| 相談内容 | 回答実績 |
|------|------|
| 該当なし | |

6. 今後の取組み方針

大阪商工会議所主催の「次世代医療システム産業化フォーラム」や大阪健康サービス産業創造協議会と連携し、本フォーラム参加の川下企業と健康・福祉・医療機器産業に参入を希望する川上企業とのマッチングについて、クリエイション・コア東大阪のものづくり受発注機能を活用しながら推進していく。